

諏訪之瀬島の火山活動解説資料（平成 24 年 8 月）

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

御岳^{おたけ}火口では、今期間、噴火¹⁾は発生しませんでした。長期にわたり噴火を繰り返しています。今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

平成 19 年 12 月 1 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 8 月の活動概況

- ・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 3）

御岳^{おたけ}火口では、噴火は発生しませんでした（7 月：なし）。

噴煙は 19 日のみ観測され、高度は火口縁上 300m（7 月：最高 400m）でした。

同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映²⁾を 8～10 日、12～14 日、18～20 日および 24 日に観測しました。

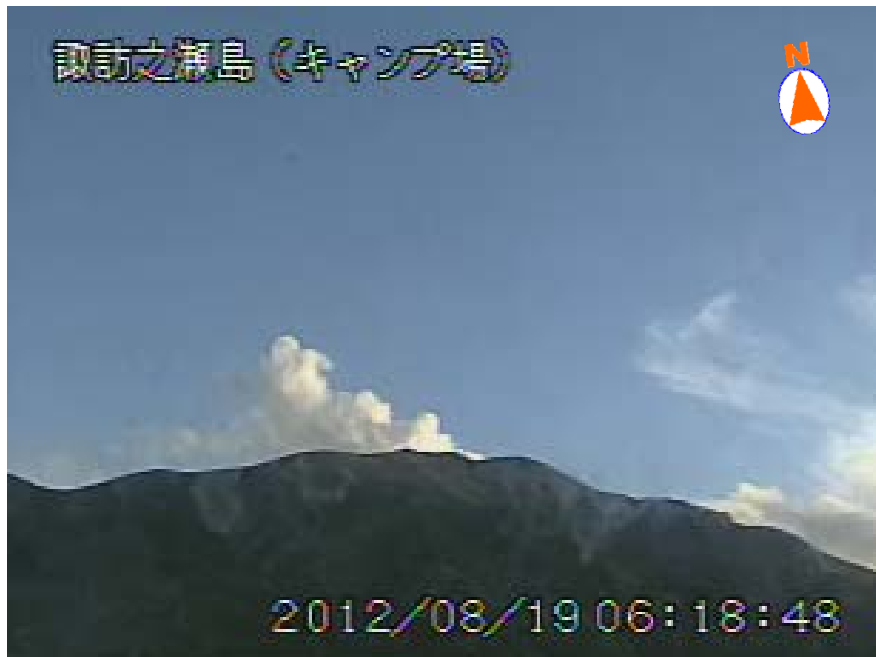


図 1 諏訪之瀬島 8 月 19 日の状況（キャンプ場遠望カメラによる）
噴煙が火口縁上 300m まで上がりました。

この火山活動解説資料は福岡管区气象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 9 月分）は平成 24 年 10 月 9 日に発表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

・地震や微動の発生状況（図 3、図 4）

火山性地震は少ない状態で経過しました。A型地震³⁾の月回数は17回（7月：29回）でした。B型地震⁴⁾の月回数は39回（7月：123回）でした。

火山性微動は観測されませんでした（7月：月合計 38 時間 5 分）。

・地殻変動の状況（図 2、図 5）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

- 1) 諏訪之瀬島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火としています。
- 2) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象です。
- 3) P相やS相が明瞭で高周波成分が卓越する地震です。
- 4) P相やS相が不明瞭で低周波成分が卓越する地震です。

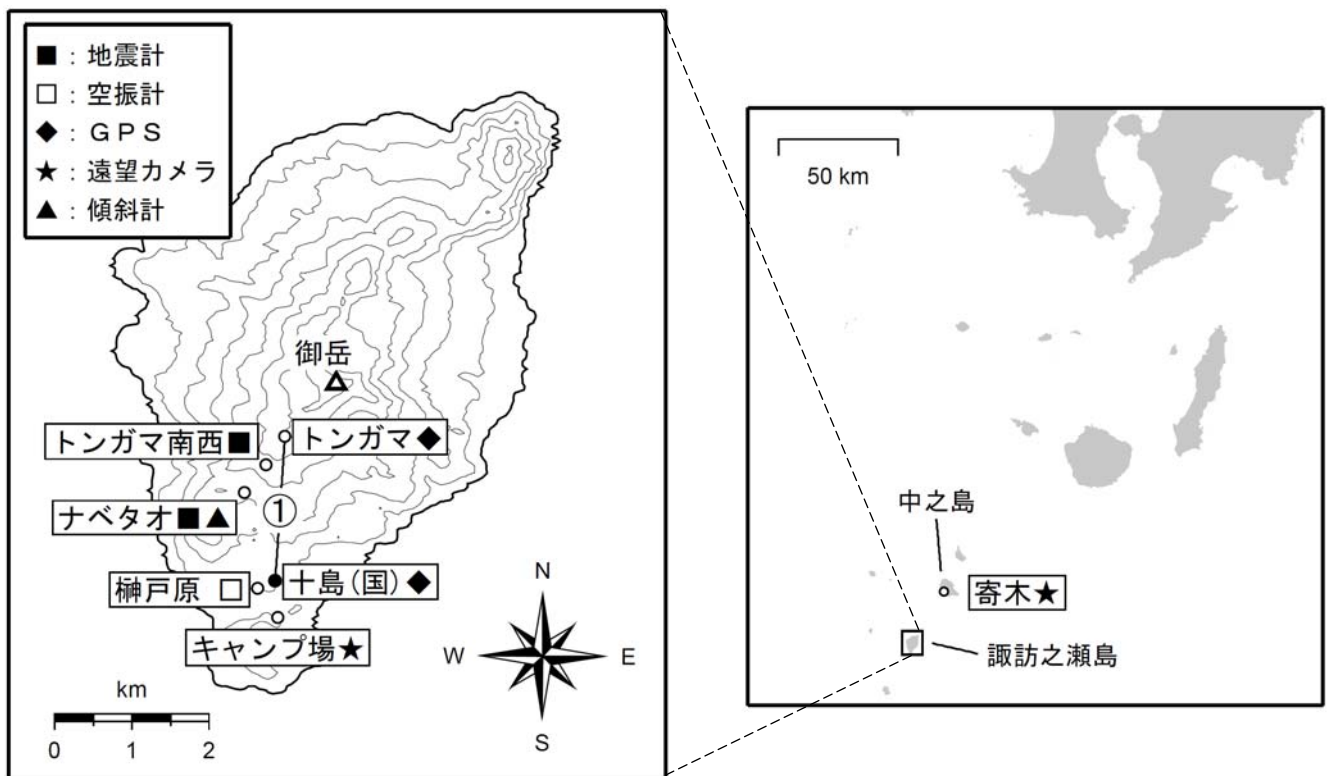


図 2 諏訪之瀬島 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院

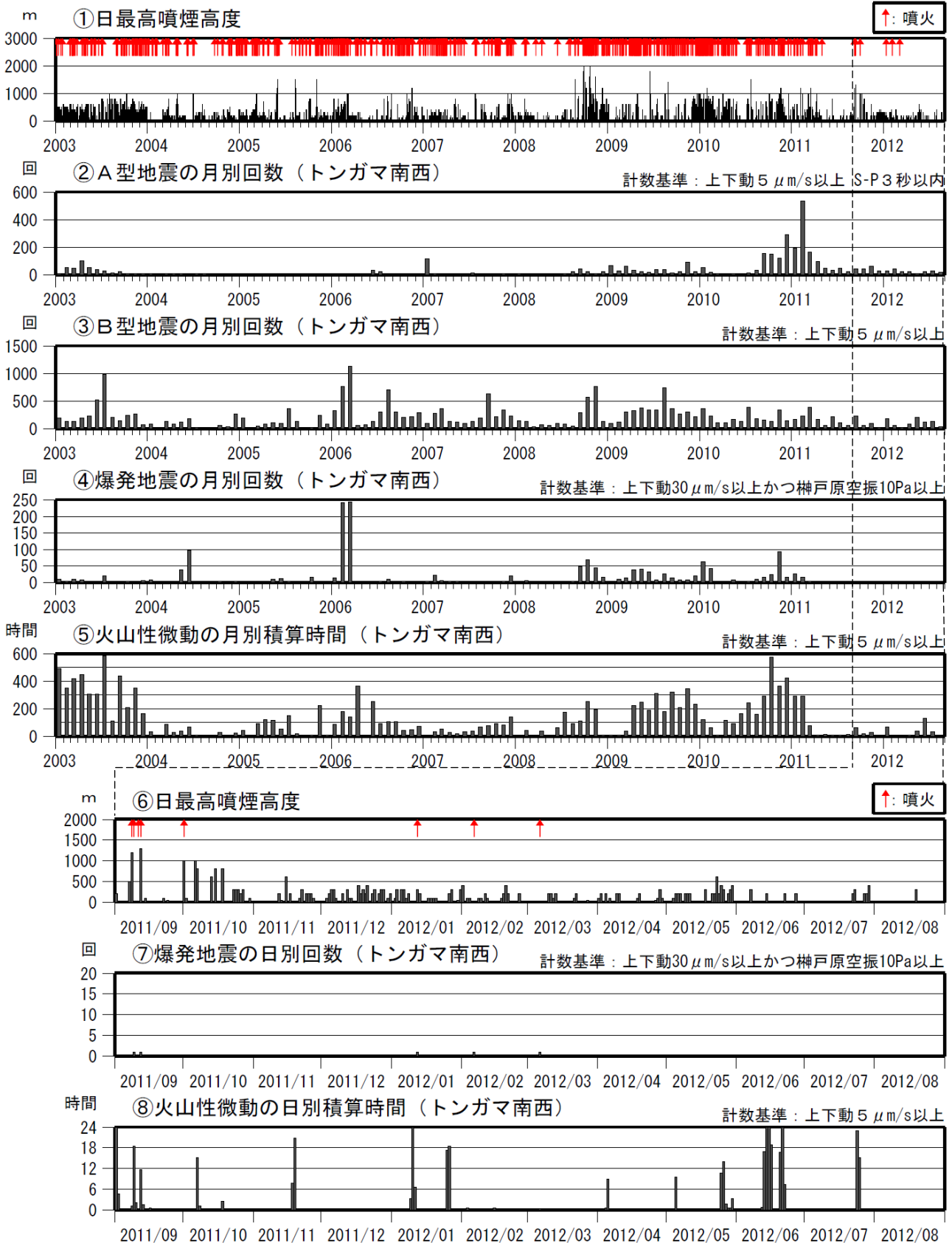


図3 諏訪之瀬島 火山活動経過図（2003年1月～2012年8月）

長期にわたり噴火を繰り返しています。

<8月の状況>

- ・爆発的噴火は発生しませんでした。
- ・火山性地震は少ない状態で経過しました。月回数はA型地震が17回（7月：29回）でした。B型地震は39回（7月：123回）でした。

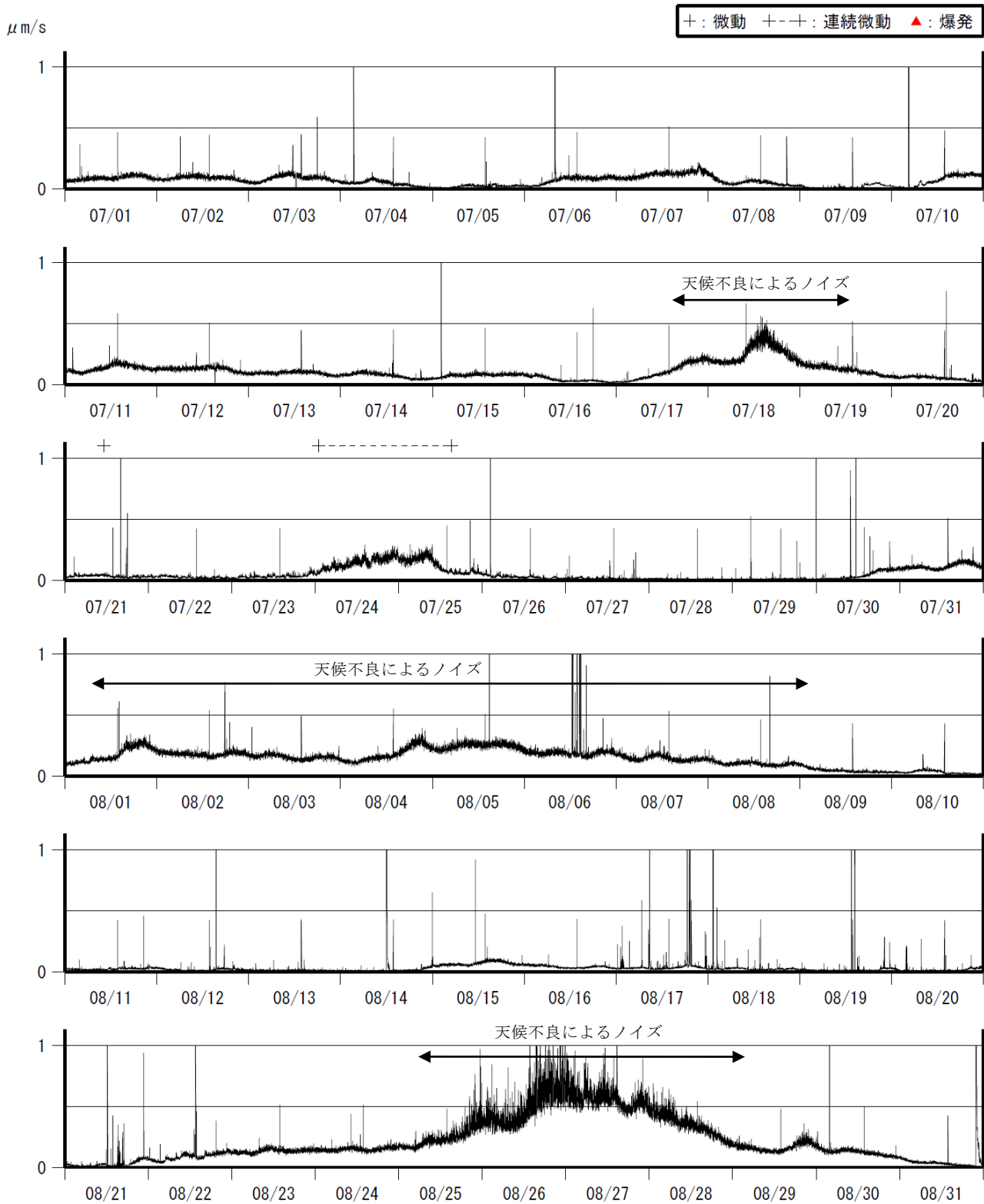


図4 諏訪之瀬島 1分間平均振幅の時間変化（ナベタオ上下成分）（2012年7月～8月）
 <8月の状況>
 火山性微動は観測されませんでした（7月：月合計38時間5分）。

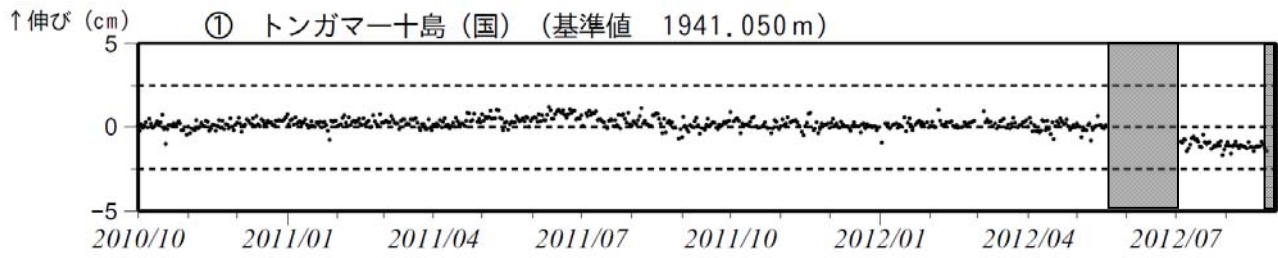


図 5※ 諏訪之瀬島 GPS連続観測による基線長変化（2010 年 10 月～2012 年 8 月）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この基線は図 2 の①に対応しています。

灰色の部分はトンガマ GPS 観測点の機器障害のため欠測を示しています。